

# 美原通信

2012年6月

第41号

## 公益財団認定を受けて

理事長 美原 樹

美原博が伊勢崎の地で財団法人脳血管研究所及び附属美原記念病院を設立してからお陰様で、50周年を迎える事となりました。

今年は、内閣府より公益財団の認定を受け公益財団法人脳血管研究所へ移行し(平成24年4月1日)新たな1歩を踏み出しました。

現在では、病院設立以来、医療制度や社会保障制度等の世の中の仕組みの変遷もあり、病院単位のみでの“脳卒中の患者の病気の発症から社会復帰まで一貫して治療する”という当初の理念とそぐわなくなりました。そこで、社会制度に適合すべく、更には、脳血管障害のみならず神経難病疾患も対象に入れ、ブレインバンクを設立致しました。

その外、介護保険適応として、老人保健施設“アルボース”、訪問看護ステーション“グラーチア”また、社会福祉法人“パトリア”、特別老人ホーム“アミーキ”も新たに設立致しました。

今後、その時代に適応しながら医学研究及び地域医療のみならず、地域連携・地域福祉にも貢献すべく日々努力していく所存です。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 公益財団法人脳血管研究所 基本方針 ~ 3つの柱 ~

#### 【臨床研究の発展】

脳・神経疾患の急性期から慢性期・介護まで病期横断的な臨床研究を行い、もって我が国国民のQOLの維持・向上に寄与する活動を行う。

#### 【教育の充実】

研究成果に基づく知見を医療関係者に広く知らしめ、我が国全体の医療・介護の質向上に寄与する。併せて、医療・介護に携わる人材育成のための活動を行う。

#### 【街づくりの推進】

医療・介護の充実した街づくりのため、地域住民から一般国民に対し疾病教育、情報提供を行い、疾病予防と医療・介護サービスの適切な利用を推進する活動を行う。

# CONTENTS

表紙	公益財団認定を受けて.....	1
報告	厚生労働省による急性期病院の「診療実績および医療の質向上等の評価」で日本一になりました.....	3
	エコアクション21 認証取得のお知らせ.....	4
	委員会紹介「在宅部門連携強化プロジェクト」.....	6
	「ICT委員会」.....	8
	「地域連携パス委員会」.....	9
	外来診療医一覧表.....	10

## 公益財団法人脳血管研究所関連施設

### 美原診療所



372-0048  
群馬県伊勢崎市大手町 6-23  
TEL 0270-25-0112  
FAX 0270-23-5522

### 介護老人保健施設 アルボース



372-0006  
群馬県伊勢崎市太田町 427-3  
TEL 0270-21-2700  
FAX 0270-21-2704

### 訪問看護ステーション グラチア



372-0048  
群馬県伊勢崎市大手町 12-24  
TEL 0270-20-7676  
FAX 0270-20-7677

### 居宅介護支援事業所 みはら



372-0006  
群馬県伊勢崎市太田町 427-3  
TEL 0270-20-1551  
FAX 0270-21-2704

### ケアプランセンター みはら



372-0006  
群馬県伊勢崎市太田町 427-3  
TEL 0270-21-2703  
FAX 0270-21-2704

### 特別養護老人ホーム アミーキ



379-2217  
群馬県伊勢崎市磯町 435-1  
TEL 0270-20-2121  
FAX 0270-20-2197

ホームページアドレス : <http://mihara-ibbv.jp/>

## 厚生労働省による急性期病院の

# 「診療実績および医療の質向上等の評価」で日本一になりました！

医事課長 内田 智久

「急性期病院」とは、救急車での搬送による緊急の治療や、手術等の複雑な治療を行う病院のことを言います。

これらの「急性期病院」に対しては、厚生労働省によって「医療の質の向上と効率化」を目的としたDPC/PDPS（急性期入院医療の包括支払い）という制度が適応されています（平成24年4月現在、1,505病院に適応）。

この制度は、東京大学病院や慶應大学病院など全ての大学病院と、国立がんセンターや国立循環器病センターなどの国立病院、日赤や済生会などの公的病院、さらに聖路加国際病院などの有名な民間病院から地方の地域医療を担っている病院まで、日本全国に幅広く適応されており、群馬県では、群馬大学病院や国立高崎総合医療センター、前橋赤十字病院、伊勢崎市民病院などが該当しています。

これらの病院は、医師や看護師などのマンパワーがどれだけ充実しているか、どれだけ多くの手術や専門性の高い医療を提供しているか、効率的な医療を提供しているかなど、複数の項目において評価されており、このうち「診療実績および医療の質向上等」を評価した値が、当院は全DPC対象病院中でトップとなりました。

この結果は、美原記念病院およびアルボースの取り組みだけではなく、地域の医療機関、関係者の方々の協力と、何より患者さんの当院の治療に対するご理解とご協力があってこそ成し得たものに他なりません。

引き続き、脳卒中および神経難病の専門病院として、地域の医療機関との連携の元で地域医療の充実に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願い申し上げます。

## DPC対象病院、2群は90病院にー 厚労省が告示

スクラップブックに保存

ウェブサイト 37

いいね!

イイネ!

共有

厚生労働省は26日、DPC対象病院に4月から適用する「基礎係数」や「機能評価係数2」などの値を官報告示した。2012年度診療報酬改定に伴うDPC制度の見直しで焦点になっていたDPC対象病院のグループ分けは、DPC病院2群が90病院、3群が1335病院となった。3つのグループごとに設定する基礎係数の値は、大学病院本院(80病院)の1群が1.1565で、2群は1.0832、3群は1.0418。

また、各病院の医療の質向上などを評価する機能評価係数2の値を病院群ごとに見ると、1群で最高だったのは東海大医学部附属病院(神奈川県伊勢原市)の0.0289で、最も低かった病院は0.0124。2群では済生会熊本病院(熊本市)の0.0369が最高。これに対し、最低の病院は0.0154だった。

また、3群で最高だったのは美原記念病院(群馬県伊勢崎市)の0.0382で、最低の病院の0.0066とは5.8倍の開きがあった。美原記念病院の値は、3グループの全1505病院を通じて最も高かった。

## 群馬県内 第1号認証！！（医療・福祉業界において）

## 「エコアクション21」認証取得のお知らせ



Wエコプロジェクト委員会副委員長 能見昭彦

平成24年2月22日付けで、「エコアクション21」が正式に認証されました。「エコアクション21」とは、環境省が策定したエコの認証・登録システムです。現在、多くの産業でエコ活動が取り組まれており、この認証登録は毎年1000件ほどのペースで増加し続けています。近隣では、「スバル販売」「とりせん」などがあります。医療や福祉の施設においてもエコ活動は活発になってきましたが、エコアクションに認証登録された病院・施設は、まだ全国で10数件ほどです。私たち公益財団法人の職員として最良の医療とケアを提供し利用者へ貢献することは当然のことですが、今ある自然と環境を守り、より良く未来に繋ぐことも使命だと考え、認証取得に至りました。



## 当財団で平成23年度に行ったエコの取り組みをまとめました

## ・デマンドコントローラーの設置

これにより最大電力量の調整ができ、夏の電力ピーク時の電力不足に貢献しました。

## ・パソコンモニタの自動電源オフ設定

パソコンを3分間使用しないと、モニタの電源が切れます。

## ・照明器具の節電

蛍光灯の間引きを行い、さらに時間帯によってルールを作成。LED照明に機器変更。（段階的に実行中）

## ・エアコンの設定温度の見直し

スタッフルームの室温設定を、夏期27、冬期21に統一。同時に各部屋にサーキュレーターとして扇風機を設置。7月～8月までクールビズ（軽装）の推奨、温湿度計の設置。

## デマンド装置

## 節電啓発



## LED照明

## 照明スイッチ



## 温度ルール

## 扇風機

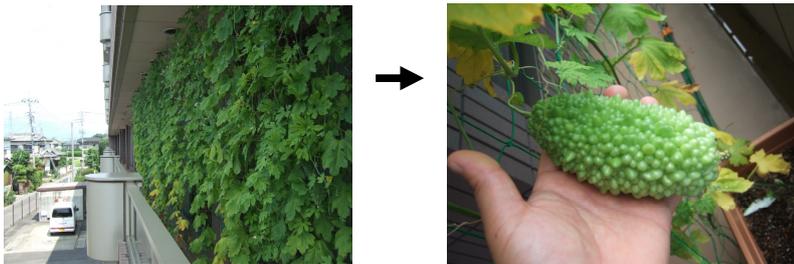
## 軽装推進

## 温湿度計



・グリーンカーテン

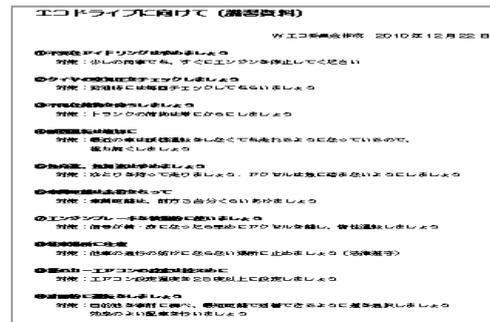
療養棟などの西側窓にゴーヤを植え、西陽などの遮熱。



・エコドライブの呼び掛け

エコドライブ教本を作成し、講習会を開催。

エコドライブ教本



節約ルール

・節水

トイレの洗浄水量を調整、センサー式水道の水量調整。

・節約

ペーパータオル使用ルール徹底。  
両面コピーの啓発。

ペーパータオルは

手首までは**1枚**  
腕までは**2枚以内**

で拭き取りましょう！

ecology (自然環境保護)と  
economy (節約)にご協力下さい。

※Wエコプロジェクト※

・ゴミ

古紙再生紙の分別を行い、リサイクルに貢献しました。

院内ラウンド

・院内ラウンドによる定期検査

監査メンバーが定期的に内部監査を実施。



当財団では、この一年間でこのような活動を行いました。

これらの取り組みの結果、二酸化炭素排出量は平成22年度比で311,541kg、約16%の削減を達成いたしました。なお現在の取り組みは、すべてスタッフルームや事務所などで行っておりますが、今後の夏の電力需給逼迫の際は、去年に引き続き当院にも電力使用量の制限が予想されます。その際は、一時的に受付や待合室なども消灯させていただく場合がございますので、どうぞご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

今後も、エコの取り組みを的確に行い、最良の医療とケアを通じて患者・利用者の皆さんへ貢献させていただきます。

# 在宅部門連携強化プロジェクト

当プロジェクトは、美原記念病院を中心に関連施設である、“美原診療所”、“介護老人保健施設アルボース”、“訪問看護ステーショングラチア”、“特別養護老人施設アミーキ”、“居宅介護支援事業所みはら”、“ケアプランセンターみはら”の在宅サービス責任者が参加し活動しています。

活動目的は、病院から退院される方が、安心して自宅で過ごすことができるように、病院と在宅部門の連携強化を図っています。

主な活動は、月に1度、各部門の責任者を集めた会議の場を設け、退院者の状況などについて、報告や連絡を行っています。在宅部門側はその報告内容を受け、病院と情報共有することで、受け入れ枠の調整・拡大を検討し、当院から退院される患者さんが必要なサービスを十分に受けられる体制を確保しています。その他、病院から在宅への移行が円滑に進められるように、スタッフ教育やシステム作りを行っています。そして、その取り組みに対しての効果を判断するため、年3回の検討会議を行っています。

更に当プロジェクトでは、当院と関連施設の連携強化だけでなく、地域の皆さんが安心して過ごせるよう、地域全体の在宅サービスの質的向上を目的に在宅ケア研究会「ぐんま」を開催しています。この研究会は、3ヶ月に1回、地域のケアマネージャーや在宅サービス事業所にお声掛けし、在宅サービスに必要な知識や技術などを習得するための勉強会です。

このように、当院と関連施設のみならず地域のサービス事業所と連携して、地域の皆さんが安心・安全に生活が送れるよう当院の基本方針である【街づくりの推進】の活動をしていきたいと思ひます。



在宅ケア研究会「ぐんま」の様子



相談員やケアマネージャーによる意見交換



# ICT委員会

ICTとは、感染対策チーム（ICT：Infection Control Team）のことで、市中の感染症流行状況と院内の感染症発生状況を把握し、医療関連感染の予防や感染の拡大を防止する活動を行っています。

感染対策チームは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・リハビリテーション科職員・事務職員など院内全ての職種で構成され、チーム医療の一環として活動しています。その活動内容の一部をご紹介します。

## 【感染対策チームの活動】

### 細菌分離状況の把握と感染拡大防止対策の立案

どのような細菌が多く分離されているか？肺炎などの原因となっている細菌が抗菌薬に耐性となっていないか？などを毎週確認し、感染症が拡大しないよう対策を考えています。

### 発熱者のモニタリング

電子カルテを利用し、毎日、患者さんが発熱していないかどうかをモニタリングして、院内で感染症が拡大していないことを確認しています。

### インフルエンザ流行状況（職員・患者）の把握

インフルエンザの流行時期（10月から4月）は、職員と患者さんについてインフルエンザの罹患状況を把握して、インフルエンザのアウトブレイクがおこらないよう監視しています。

### ワクチン接種の励行

職員がインフルエンザ、麻疹、風疹、ムンプスなどに罹患して、入院患者さんにうつさないように年間のワクチン接種スケジュールを立案し、ワクチン接種を励行しています。

### 針刺事故の対応

職員が誤って針刺事故を起こしてしまった場合に、適切にフォローしています。また、針刺事故が起こらないように安全な器具の導入を行っています。

### 感染対策マニュアルの作成

職員にわかりやすく、最新の感染対策の情報を盛り込んだマニュアルを作成しています。

### 感染対策に関する院内研修（職員教育）

毎年2回の研修会を開催し、職員に対して最新の感染対策の方法を教育しています。

### 学会発表

医学の発展に寄与するため、環境感染学会などの感染症の専門学会に、当院の感染対策の活動などについて学会発表しています。

ICT委員会は、このような感染対策の活動を通して、チーム医療に貢献し、地域住民の方々に安心して医療を受けられるよう、当院の基本方針である【街づくりの推進】に取り組んでおります。

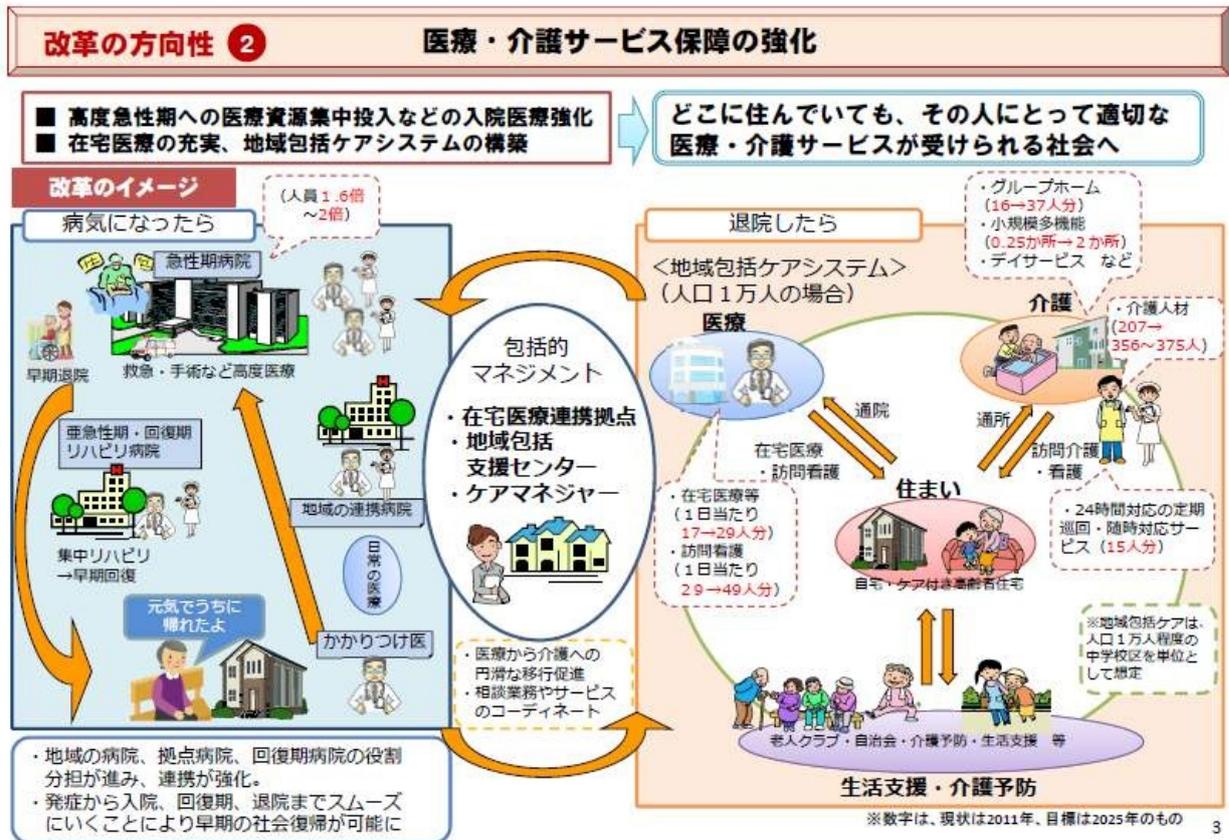
# 地域連携パス委員会

現在、私たちを取り巻く医療・介護の分野が大きく変わろうとしています。今回は、その背景も含めて、地域連携パス委員会についてご紹介させていただきます。

今、社会保障と税の一体改革について、ニュースや紙面で大きく取り上げられていますが、これは単に消費税増税のことだけを言っているのではなく、「将来的に、どのような医療・介護の提供体制を築いていくか」という話題も含まれています。特に「私たちの住んでいる地域に、どのくらいの数の入院するベッドの数が必要か・介護の施設が必要か」など、具体的な数値や各病院の役割分担などについても述べられており、将来の医療・介護に関わる非常に重要な話題となっています。

社会保障と税の一体改革では、下の図の右側にあるように、「住まい」を中心に、私たち住民が必要な医療・介護サービスを受けられる社会の仕組みづくりを目指しています。医療機関に対しては、図の左側のように、病気になった時、治療を受ける「急性期」から、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）の場合、治療が終わった後にリハビリをする「回復期リハビリ病棟」のスムーズな連携が求められています。

地域連携パス委員会は、役割分担された各医療機関や介護施設を患者さん・利用者さんがスムーズに移動できるよう、図の中のオレンジの矢印のような役割を担っています。



内閣官房ホームページ

「社会保障・税一体改革で目指す将来像(厚生労働大臣提出資料)」より

美原記念病院では、治療をするための「急性期病棟（3階病棟）」と、積極的なリハビリテーションを行う「回復期リハビリテーション病棟（5・6階病棟）」、施設と自宅それぞれに泊まりながら行き来することで自宅生活を支える「介護老人保健施設アルボース」、「特別養護老人ホームアミーキ」があります。自宅生活を支える部門は「美原診療所」、「居宅介護支援事業所みはら」、「ケアプランセンターみはら」、「訪問看護ステーショングラーチア」、「美原記念病院訪問リハビリテーション科」を有しています。

そのため、3階での治療が終わると、5・6階に移動するだけで専門的なリハビリテーションを行う回復期リハビリテーション病棟に移ることができ、退院後は自宅生活を支える部門がサポートする体制が整っているため、矢印のような「地域連携パス」は必要ありません。

しかし、治療のための急性期病棟だけを持つ病院では、治療からリハビリテーション、退院後の自宅生活を支えるまで、全ての段階を支えることは困難です。「地域連携パス」はその困難な部分をつなげる役目をしています。私たちは、地域で開催される会議に出席し、様々な病院や介護施設の方々と顔の見える関係作りを行い、スムーズな連携が図れるよう取り組んでいます。

時には、下の写真にあるように会議で発表するなど、当院の取り組みや研究データを地域の医療・介護機関（病院・介護施設）に発信しています。

これからも、地域の皆さんと共に、適切な医療・介護が受けられる連携体制作りを励んでまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



リハビリテーション科作業療法科  
副主任 石森 卓矢による発表

脳卒中部門長 神澤 孝夫医師による  
活発な質疑応答



## 外来診察医一覧表

平成24年6月1日現在

		月	火	水	木	金	土
神経内科		美原 盤	木村 浩晃	神澤 孝夫 (脳卒中)	美原 盤	神澤 孝夫 (脳卒中)	木村 浩晃
		鈴木健太郎 (脳卒中)					五味愼太郎 (頭痛外来)
脳神経外科		佐野 由佳	狩野 忠滋		赤路 和則	谷崎 義生	
整形外科			小林 茂夫				非常勤医師
内科				美原 樹			
循環器科		江熊 広海				江熊 広海	
特別外来(予約制)	午前		脳血管内治療 赤路 和則 9:00~		パーキンソン 病 大平 貴之 午前	リハビリ 担当医師 10:30~	ボトックス 美原 盤 午前
							パーキンソン 病 大平 貴之 午前
	午後			神経難病 美原 盤 13:00~	もの忘れ 木村 浩晃 13:00~	もの忘れ 美原 盤 13:00~	神経内科 高尾 昌樹 (第2・4) 13:00~
						循環器科 江熊 広海 13:00~	セカンド オピニオン 担当医師 14:00~
ガンマ ナイフ	ご相談に応じて実施いたします。						

**受付時間** 午前8時30分~午前11時30分

**休診日** 日曜日, 祝日

年未年始, お盆による休診日や担当医の変更は, ホームページまたは院内掲示板にてお知らせいたします。

受付時間・休診日ともに, 急患の方は, この限りではありません。

**面会時間** 午後1時~午後7時

3階病棟311号室~317号室は午後3時~午後7時

**支払い** 入院費等の支払いは午前9時~午後5時までにお済ませ下さい。



(公財)脳血管研究所美原記念病院

群馬県伊勢崎市太田町366

TEL: 0270-24-3355

FAX: 0270-24-3359

Institute of Brain and Blood Vessels